

委員会で質問しました！

～毎議会質問を行っています！
詳しくは県議会 HP をご覧ください～



～子どもの貧困対策～

困難の実態がわかる、 地域ごとの対策につながる調査を！

県の
答弁

子どもの貧困実態調査は、県内全域や福祉圏域ごとの特徴を把握するため、都道府県で唯一調査を実施した沖縄県の調査を参考に実施したい。詳しい内容は、新たに設置する「**子どもの貧困対策検討会議**」で検討する。児童養護施設やひとり親の子どもも実態把握したい。子どもを取り巻く人間関係、子どもの心理への影響、貧困の要因分析などにについても検討したい。



自殺防止対策の充実を！

県の
答弁

県では、相談体制の整備、自殺防止の普及啓発、自殺された方の遺族に対する支援等を行っている。1年365日電話相談を受ける「**あいちこころほっとライン365**」の開設やメールによる相談等を行っている。今回の自殺対策基本法の改正を受けて、市町村で自殺対策の計画を策定する必要があり、県として支援をしてみたい。自殺を思いとどまらせる**ゲートキーパー**の研修も引き続き行う。県では、自死遺族の方への支援を重要と位置付けており、面接相談や分かち合いの会等の活動を行っている自助グループに支援する。



不妊治療への支援を！！

県の
答弁

不妊治療の補助制度は、人工授精に要した費用を助成する「一般不妊治療」と、より高額な治療費が必要な体外受精、顕微受精に要した費用を対象とする「特定不妊治療費助成事業」がある。凍結肺移植の治療費は平均で約56万円で、助成額は初回治療時で上限が30万円、2回目以降は上限が15万円であり、**なお高額な自己負担額**が生じている。県としてはより一層治療を受けやすくするため、医療保険の適用を含め、経済的支援の拡充を、国へ引き続き要請してまいりたい。



結婚支援に力を入れて!!

県の
答弁

県の婚活情報ポータルサイト「**あいこナビ**」に掲載しているイベントは年間183企画で参加者3270人、イベント当日に成立したカップル数は302組。出会いの機会を提供する団体「**出会い応援団**」は現在40団体、従業員の結婚支援に積極的な企業・団体「**婚活協力団体**」は現在28団体の登録を頂いている。カップリングのための**相談支援**は、茨城県や栃木県、愛媛県など22の県で、利用者の個人情報を得て個別相談やマッチングを行っている。本県としては「あいこナビ」参加企業等を増やし、相談支援は検討したい。

りえのひとこと

私が3月の委員会一般質問で提案しました「**子どもの貧困の実態調査**」を県として取り組むと知事の記者発表がありました。困難を抱える子どもたちがどの地域にどのような状況でいるのか判明する調査にし、この深刻な問題が早く改善に向かうよう、支援につなげていくべきと考えます。



ご意見・ご感想などをお寄せください ●ホームページ <http://www.ootakerie.jp>
●発行 おおたけりえ事務所 〒442-0854 豊川市国府町流霞59-2 TEL.0533-80-1055 FAX.0533-80-1056

愛知県議会議員

おおたけりえ



県政レポート vol.006

〒442-0854 豊川市国府町流霞59-2
TEL.0533-80-1055 FAX.0533-80-1056

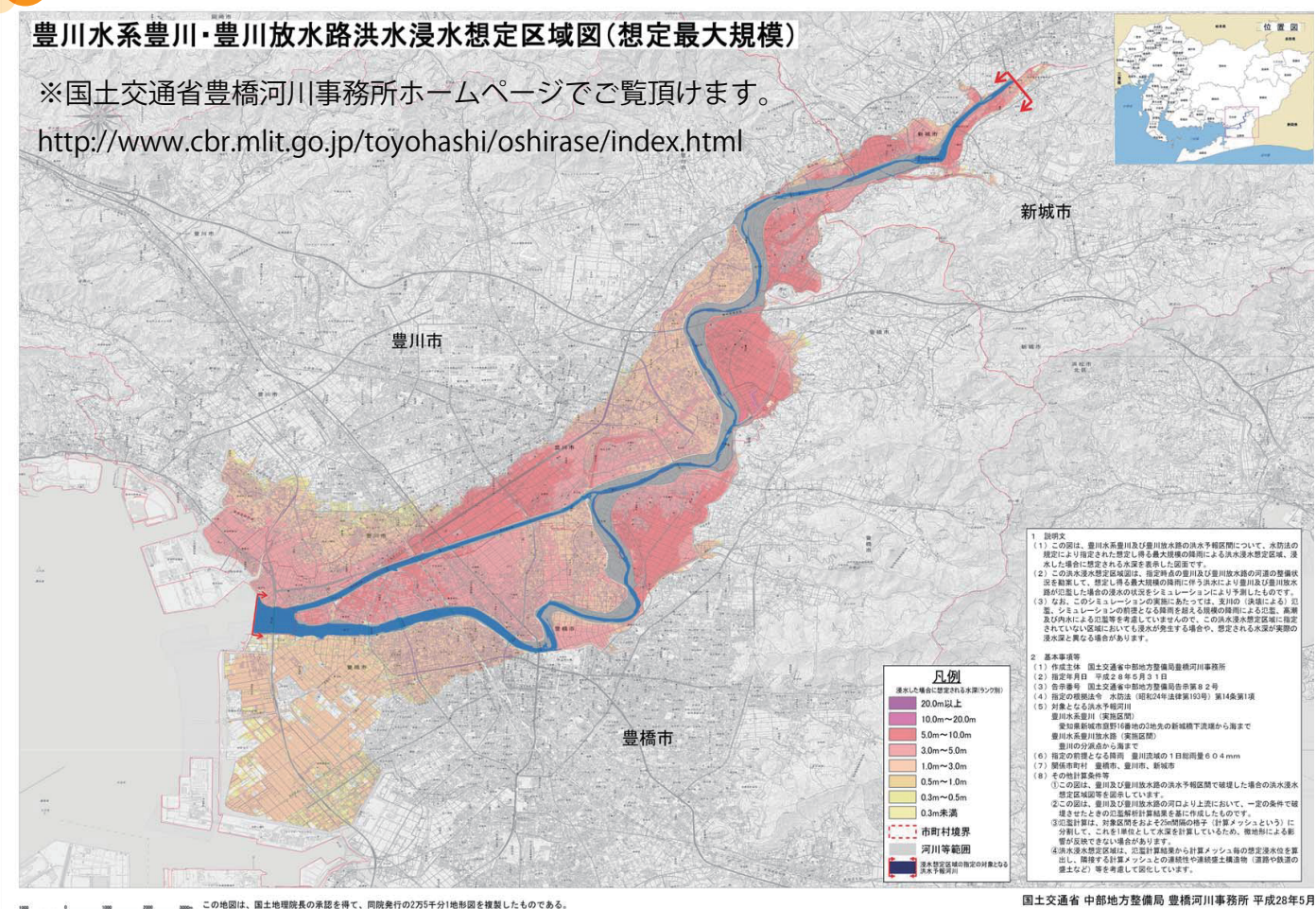
豊川の浸水想定域が公表されました

～鬼怒川の氾濫を受け1000年に1度の豪雨を想定～

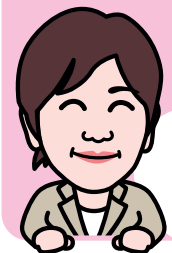
皆様、いかがお過ごしでしょうか。先の臨時議会では今年度の役職等が決定し、私は今年度も「**健康福祉委員会**」と「**人づくり・福祉対策特別委員会**」に所属が決められました。先の定例会では、大規模展示場等の費用のための補正予算が成立し、また、この地域に関しては豊川水系の新たな浸水想定が発表されました。県政へのご意見等ぜひ事務所までお寄せ下さい。

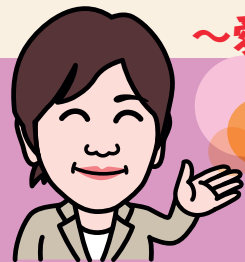
豊川水系豊川・豊川放水路洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

※国土交通省豊橋河川事務所ホームページでご覧頂けます。
<http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/oshirase/index.html>



国土交通省豊橋河川事務所が**1000年に1度の豪雨**を想定した場合の豊川水系洪水浸水想定区域を発表しました。2000年の東海豪雨と同規模の1日あたり約600ミリの降雨量で計算しています。7月中旬より県と関係市町で「**水防災サミット**」が開かれ、連携による対策、避難勧告等について話し合われます。該当地区の方は、**いざという時の避難**についてご家族で話し合っておいて頂きたいと思います。また、被害を最小化できるよう、ソフト・ハード両面において、今のうちからできることを備えておかねばならないと思います。





～愛知県政全体のトピックスをご報告します～

大規模展示場、アジア競技大会の誘致等のための補正予算が成立しました！

補正予算金額 臨時議会 6650 万円・定例議会 6 億 2951 万 1 千円
補正後合計 2 兆 5256 億 5401 万 1 千円

1 第 20 回アジア競技大会招致推進費 6650 万円

2026 年開催予定の大会に名古屋市と共同で立候補表明。加盟 45 か国が参加するアジア版オリンピックであり、選手と関係者で約 1 万 6 千人の参加が想定される。大会招致に向けて開催構想等作成し、関係各機関へ働きかける費用。

2 大規模展示場の設計・施工費

5184 万円（債務負担行為 348 億 9040 万円）

常滑市の空港島に展示面積 6 万㎡の展示場を平成 31 年秋頃開業に向けて着手。



（※イメージ資料提供：愛知県）

3 社会福祉法人の経営労務管理の改善支援 5888 万円（新規予算）



経営労務管理に苦勞している社会福祉法人の支援のため、公認会計士・税理士・弁護士・中小企業診断士・社会保険労務士等専門家を派遣し、介護や保育等の福祉サービスを安定的かつ継続的に提供できる体制づくりを目指す。
（1 法人当たり 46 万円）

4 保育補助者の雇上げに必要な費用の貸付 9759 万円（新規予算）

保育士不足の解消のため、保育補助者を雇用する費用の貸付を実施。貸付を受ける期間中または貸付終了後 1 年以内に保育士資格を取得したとき貸付金の返還を免除。年間 10 施設 3 年間、年額 295 万 3 千円以内。



5 農福連携により障害者の工賃向上 500 万円（新規予算）

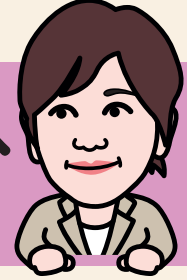


農業分野での障害者の就労を支援し、職域の拡大及び工賃水準の向上をはかるため、技術や 6 次産業化の指導助言するアドバイザーを障害者就労支援施設に派遣。

～豊川にまつわる愛知県政の状況をご報告します～

重症心身障害児者入所施設の不足解消へ

～豊川市内に本年度中に民間による施設が整備されます！～

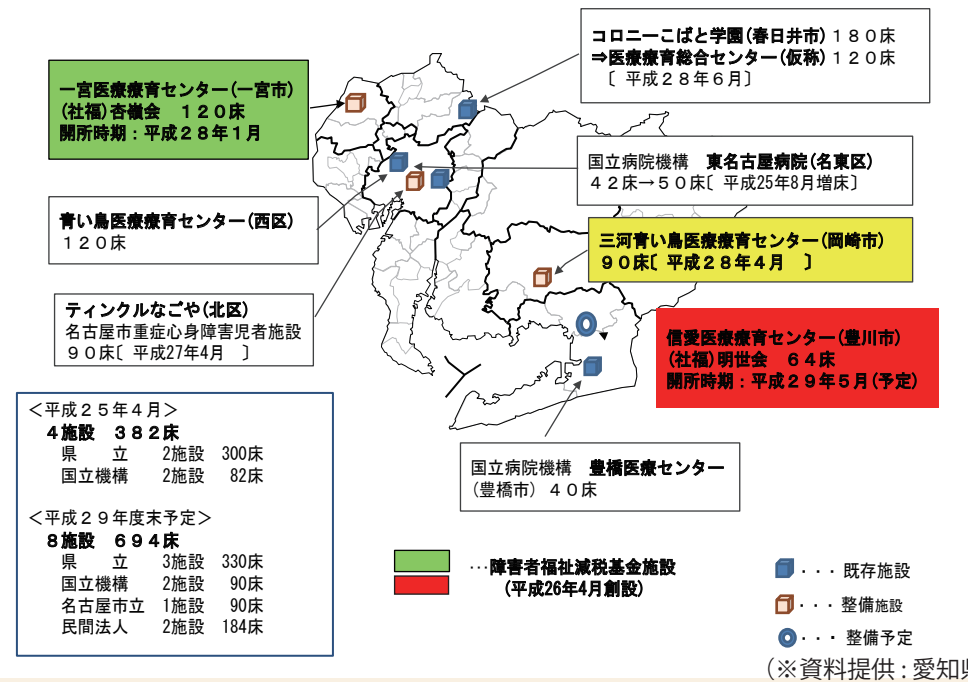


この東三河地域の重症心身障害児者の施設の不足は長年の懸案でした。今年度、豊川市内に整備されることをはじめとして、県下全体で整備計画が着実に進んでいます。

本年 6 月末には春日井市で心身障害者コロニーの再編に伴う新たな重心病棟 120 床の運用を開始。

障害者福祉減税基金を活用し、民間による重症心身障害児者施設の整備を進めることとし、本年 1 月には一宮市内において民間の「一宮医療療育センター」120 床が開所、さらに本年中には豊川市内において民間施設 64 床が整備される予定。これらにより、平成 25 年時点で 382 床であった県内の重心病棟は、来年度には 1.8 倍の 694 床に拡充する見込みです。一層の環境改善を期待します。

愛知県の重症心身障害児者入所施設整備計画



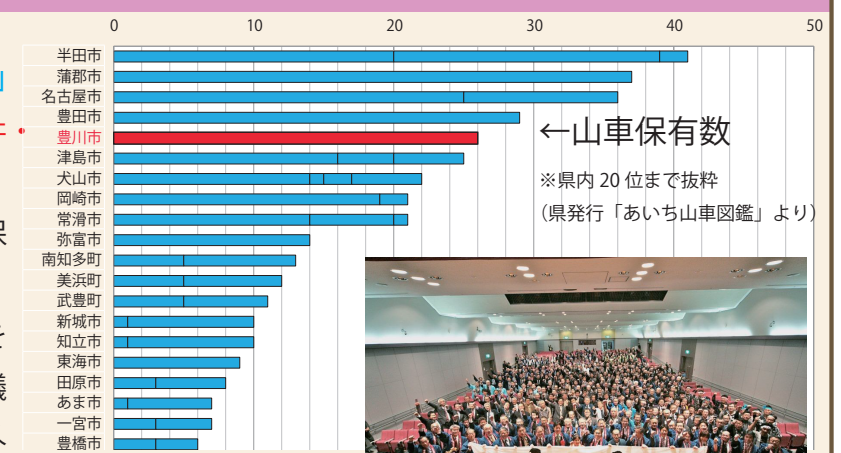
～みなさん、ご存知でしたか？～

豊川市は県内5位の保有数！



6月に「あいち山車まつり日本一協議会」が設立され、豊川市からは、牛久保・小坂井・国府・赤坂・宿の5地区が出席されました。オールあいちで山車にまつわる情報発信、保存継承を目指すものです。

地域のおまつりの活性化は、地域の魅力を増し、まちおこしにつながります。この協議会を契機に、この地域の方はもちろん地域外の方も含めて関心を高めるとともに、観光にもつながることを期待します。



総会での様子→
(愛知県提供)

